

穂高幼稚園 「み～つけた！」

11月下旬に行われた「ようちえんまつり」では、一つのテーマのもと、遊びを通して子どもたちの関わりが深まりました。日々、遊びが変化しながら楽しんできました。その友だちとの関わりや深まりがから、友だちとイメージを共有する楽しさ味わった子どもたちは、『冬』をイメージしたあそび場をプレイルームに作ったのです。



「近くの川に白鳥が来るよね！
こんな風に羽を広げてるよ」
白鳥をつかって湖にうかべます。



雪のお城をつくり、誰かを住まわせようとしています。



冬の国への入り口は、氷のトンネルです。カラフルなライトを点灯します。



冬の国が、少しずつにぎやかになってきました。色々な場所で遊びながら、作り続ける子どもたちです。

冬の国に、“こたつ”と“温泉”ができました。
「あったか～～い…」



クリスマスが近づき冬の国は、
幻想的になってきました。



ある日、家ができました。「何？誰がいる？」窓からのぞく子どもたち。
「灯りが見える！」「誰がいる！！」そ〜っとドアを開けてみます。



「おや？よくここがわかったね。入っておいで」
吸い込まれるように入っていく子どもたち。
そこには……、サンタクロースがいるではありませんか！



サンタクロースの部屋へ入って、サンタさんと話をした2人きりの時間。
子どもたちは、この空間と雰囲気の中で、きっと心に何かを感じ、残していることでしょう。
その後の会話からも、とても嬉しく特別な時間だったことが伝わってきました。